

せん妄について

せん妄とは

せん妄とは、以下のようなことが原因で、一時的に意識が混乱することです。

全身状態が悪い 手術の後 脳、心臓、呼吸の病気で重篤な状態 など

せん妄を治療しないと、治療中の身体の病気が悪化したり、入院期間が延長したりすることがあります。

せん妄になりやすい人

高齢の方 物忘れが目立ってきた方 脳梗塞や脳出血になったことがある方
せん妄になったことがある方 アルコールや睡眠薬を飲む習慣がある方

せん妄のときの体の変化や特徴

場所や時間が分かりにくくなる
実際に無いものが見えたり、聞こえたりする
睡眠のリズムが乱れる
落ち着きが無い、そわそわする
話のつじつまが合わない
荒っぽくなったり、怒りっぽくなったりする
治療のための管を抜いてしまう

(上記の症状がすべての方にみられるわけではありません)

このような症状に気づかれた場合は、医師や看護師にお知らせ下さい。

『せん妄の予防と対応』について一緒に考えていきましょう

せん妄は、身体の病気による症状であり、「気の持ちよう」や「こころの問題」ではありません。認知症や精神病とは違います。適切な治療を行えば、症状が改善するといわれています。

【せん妄予防のポイント】

日付や場所の確認をしましょう
・時計やカレンダーを近くに置く
睡眠・覚醒リズムを整えましょう
・日中の活動の助けとなるもの（本、新聞、テレビ、ラジオ、軽い運動など）を活用
・朝から日光を取り込んで部屋を明るくする
普段使用している眼鏡、補聴器は正しく着用しましょう

ご家族の方へのお願い

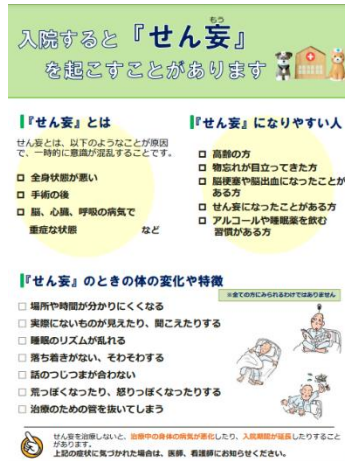
つじつまの合わない話があったとき、「おかしい」と指摘すると、かえって患者さんの誇りを傷つけることがあります。無理に正すことはしないようにしましょう。

□痛みや便秘など、患者さんが気になっている症状は早めに医療者へ相談しましょう。

□ご家族がそばにいるだけで患者さんは安心されます。普段通りの言葉がけをお願いします。

パンフレット

各病室には、せん妄についてのパンフレットを置いています。入院されましたら、ぜひご一読下さい。



入院すると『せん妄』を起こすことがあります

『せん妄』とは
せん妄とは、以下のようなことが原因で、一時的に意識が混乱することです。

『せん妄』になりやすい人

- 高齢の方
- 物忘れが目立ってきた方
- 脳梗塞や脳出血になったことがある方
- せん妄になったことがある方
- アルコールや睡眠薬を飲む習慣がある方

『せん妄』のときの体の変化や特徴

- 場所や時間が分かりにくくなる
- 実際にはないものが見えたり、聞こえたりする
- 睡眠のリズムが乱れる
- 落ち着きがない、そわそわする
- 話のつじつまが合わない
- 呆ぼうになったり、怒りっぽくなったりする
- 治療のための音を抜いてしまう



『せん妄の予防と対応』について一緒に考えていきましょう

せん妄は、身体の病気による症状であり、「気の持ちよう」や「こころの問題」ではありません。認知症や精神病とは違います。適切な治療を行えば、症状が改善するといわれています。

せん妄予防のポイント

- 日付や場所の確認をしましょう
・時計やカレンダーを近くに置く
- 睡眠・覚醒リズムを整えましょう
・日中の活動の助けとなるもの（本、新聞、テレビ、ラジオ、軽い運動など）を活用
・朝から日光を取り込んで朝顔を明るくする
- 普段使用している眼鏡、補聴器は正しく着用しましょう

ご家族の方へ

- つじつまの合わない話があったとき、「おかしい」と指摘すると、かえって患者さんの誤りを責めつけることがあります。無理に正すことはしないようにしましょう。
- 痛みや便秘など、患者さんが気になっている症状は早めに医療者へ相談しましょう。
- ご家族がそばにいるだけで患者さんは安心されます。普段通りの言葉がけをお願いします。

せん妄ケアチーム

病棟が提供するせん妄の予防、せん妄の早期発見、重症化や遷延を予防し回復に向けたケアの提供、患者の身体状態の悪化予防、ADL や患者・家族の QOL の向上を目指して結成されたチームです。入院時より、せん妄発症のリスクがある患者さんへの対応が行えるように院内での仕組み作りをしています。また、せん妄になった患者さんへは身体的な原因や誘因を探り、痛みや苦痛が最小限になるようなケアの方法や、必要な薬物療法を多職種と検討して、病棟看護師とともに重症化の回避やせん妄の遷延を予防し、回復に向けた支援を行っています。